

令和8年2月7日 長崎市育成連「事例発表」

# みんなの居場所づくり

---

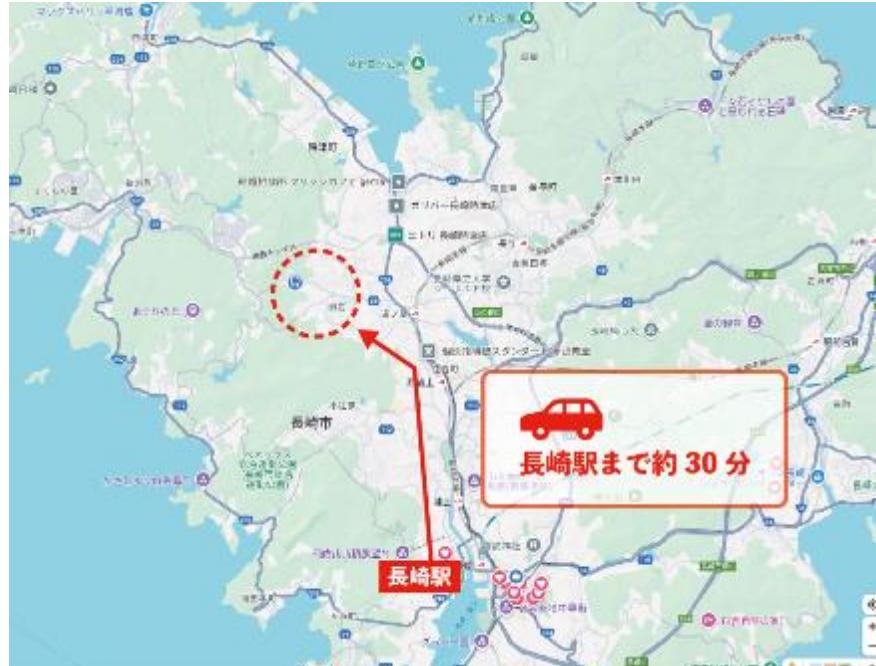
■ 北陽小育成協 ■ 発表者:平たけし(会長)

# 北陽育成協は、どこ？



▲よく“北部”と言われる

※いわゆる昭和の“ニュータウン”  
※大園小・横尾小・滑石小校区と隣接



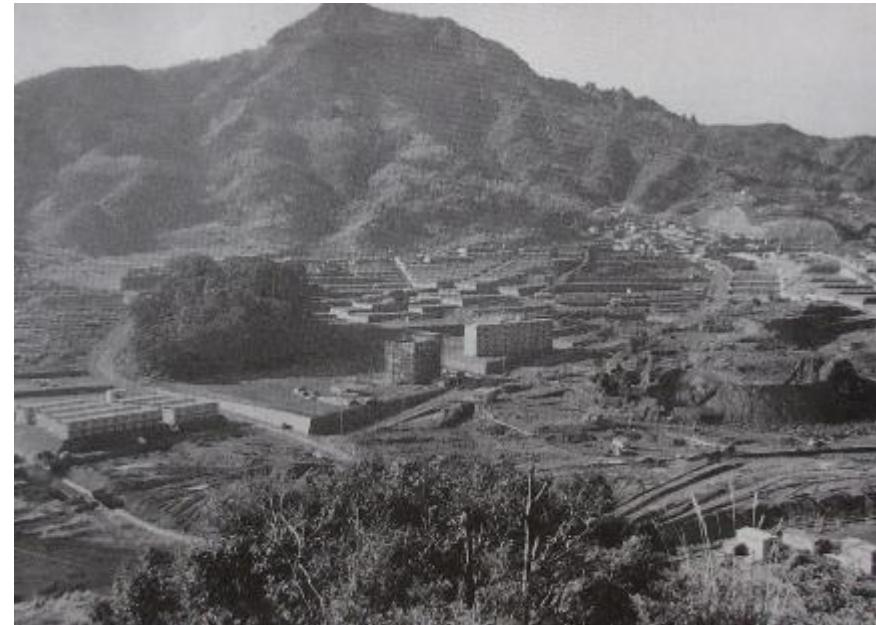
▲市街地へナイスアクセス!

# 北陽小校区はどんな地域①



▲昭和30年代  
滑石団地造成前の滑石村

※写真左側は現・北陽地区  
※写真右側が現・横尾地区  
※左上が三重方面に抜ける道



▲昭和40年代団地造成が進む滑石地区

※後ろの山は岩屋山  
※写真左の木々がこんもりした所は滑石太神宮

# 北陽小校区はどんな地域②



▲昭和50年代、滑石団地協議会主催で開催していた「滑石まつり」

※この地域の人口が約6万人まで増加し地域活動も活発に行われていた

※写真右は“ミス滑石”を先頭に防犯パレード

※写真左は「滑石まつり」での各町の出し物『こども神輿』

※この時代はとにかく人が多く、地域活動、地域商売なども右肩上がりだった

# 現在の「北陽小育成協」の取り組み

# ◎こども主役、自立心を育む取り組み

## 北陽小「1DAYキャンプ」



▲ずぶ濡れ「水鉄砲合戦」



▲そうめん流し



▲グループで家族の晩ごはんづくり  
(メニュー決め→買物→料理→持帰り「自宅で家族と...」)

## 北陽小「門松づくり」



▲ノコギリやペンチを使い  
親子でオリジナルの  
門松づくり  
(左は図工室作業風景)



# ◎地元を子供たちの“心のホーム”に

## 「卒業おめでとう展」



▲滑石中卒業生に地域みんなで応援メッセージ



▲地元の保育園や幼稚園  
高齢施設、商店などの  
地域の人たちからも！



▲約100人分のメッセージ  
滑石中3年生教室そばに  
卒業式前2週間展示

## 地域清掃「ピカピカ大作戦」



▲地域内の公園や通学路を地コミと合同で定期清掃  
(かならずご褒美あり。お菓子やカレーなど)

# ◎ほかにもいろいろと取組み中



▲北陽小児童に安全講習



▲地元秋まつり前にフードコートとなる駐車場のクリーン活動



▲通学路危険箇所視察



▲北陽小児童に郷土学習

# みんなの居場所づくり

(令和6年度からの新しい取組み)

# 『なぜ取り組んだか？』

## 【育成協の課題】

- ・いろいろと活動するが、人が来ない…
- ・いつも同じメンバー、新しい仲間が増えない…
- ・地域の人やシニア層にも参加してほしい…
- ・コアメンバーを増やしたいが…
- ・主催する自分たちがツラくなつてないか…etc

※育成協の活動を継続していくには？

# 『課題に対してどうする？』①

## 【課題への挑戦】

- ・いろいろと活動するが人が来ない…
- ・いつも同じメンバー、新しい仲間が増えない…  
→行事 자체、内容、開催日程・時間の見直しを！  
→令和の子供・保護者のニーズに合ってるか？
- ・地域の人やシニア層にも参加してほしい…  
→地域全体への告知・周知はできてるか？  
→従来の「回覧板」「掲示板」「チラシ」でいいのか？  
→来てほしい行事の内容がニーズにあってるか？

# 『課題に対してどうする？』②

## 【育成協の課題】

- ・コアメンバーを増やしたいが…
  - ・主催する自分たちがツラくなつてないか…etc
- 自分たち自らが楽しくやってるか？
- 鏡を見ろ！ツライ顔で動いてないか？
- 今の組織に新顔を受け入れる土壌はあるか？

※今の動きに疑問を持つ

※周り（社会や今の親は…）のせいにしない

※原因は内側にあることがあることを認める

# 課題を元に考えたアイデアが “みんなの居場所づくり”

①広い世代に共通した興味あること

→「食」「食べること」

(行動を起こしたくなるほどのメニューって何?)

②安心して行ける場所とは?

→地域の学校(我が子が通った馴染みある小中学校だったりする)

→コミュニティスクール(北陽小)の目的と一致

→開催日時によっては車でも行ける

# 【地域活動あるある】

ちょっと  
ブレイク

- ・さばける人材=いい人材

※とにかく作業が早い人が重宝される

- ・マイペースな人材=使えない人材

※「早くせろ！」の圧が強い(結果→参加したくない 😭)

※手伝ってるのに怒られる(結果→参加したくない 😠)

新顔を受け入れる時に

“マイペースな作業”を受け入れる寛大な心が必要

# 課題を元に考えたアイデアが “みんなの居場所”づくり

## ③プラスαをどうする

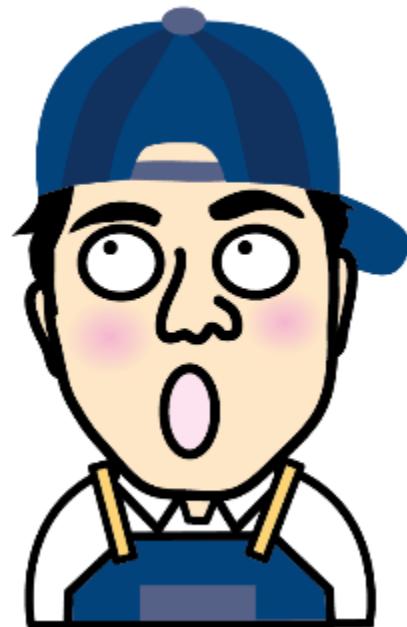
- ※①②ではまだ弱い、もっと行きたくなる仕掛けを
- 図書室を開放し、時間つぶしの空間を
- ボードやカードゲームを多数準備して、
- 食後にもダラダラと過ごせるコーナーを設ける
- 極上の珈琲を準備し、滞在してもいい理由を作る

※滞在時間を増やすことで  
交流したり会話したりする機会が増える

地域課題に取り組むアイデアの1つ

# 「北陽みんなの学校」

- ①図書館開放
- ②みんなの食堂  
～タケズキッチン～



# 【配布したチラシ】

夏休み限定！  
みんなの居場所づくり

## 北陽みんなの学校

～宿題なしこんね！ 食べにこんね～

●あいさつ  
今から夏休みに初めて帰宅する北陽小学校のコミュニティづくり。夏休み期間に5日間、北陽小の図書室と家庭科室を開設してもらいました（北陽小に宿題なし！、子供たち、保護者、地域の人が集まる場所と機会を作ります）。

初めての事業で上手にはできないかもしれません。気恥ずかず行動する基準を自指して、この町のボランティアと一緒に取り組みます。おしゃべりとタケズキッチンのアンチに来てください！

●開催日  
8月 1日 (木) 7日 (水) 21日 (水) 27日 (火)

【必ずお読みください】

●馬鹿保護者の皆さんへ  
「北陽みんなの学校」は北陽のボランティアが運営する手作りの居場所づくり活動です。学童保育ではありませんので、児童は保護者の責任の元で参加していただけになります（北陽小は場所の提供のみ）。

参加する際の行き帰りの交通安全指導は各家庭でお願いします。また、食事に際してアレルギー対応はできませんのでご注意ください。さらに「泊まり」をやめない方は次回以降の利用を制限する場合があります。少人数での運営のため、参加者のマナーありきの心地よいとされています。ご理解いただけた上ででの参加をよろしくお願いします。

●その他  
・年齢は必要ありません。（アンチは年ぐぐり活動）  
・学童保育ではありません  
・飲み物は各自で持参してください  
・アンチは30人を定員に準備します。グループや大勢で参加する場合は事前にお知らせください  
・当活動の様子は北元情報紙・SNSで発信します  
・ご不満な点は以下までお尋ねください

○問い合わせ  
△北陽小育成協会 〒142-0073 12.takeshi@dream.com  
△北陽小育生会 鹿田達 tel.090-957-4394  
△北陽小学校コミュニティ居場所協会 tel.090-8122-6798

令和6年7月22日  
北陽小育成協会 〒142-0073  
△北陽小育生会 鹿田達  
協力…北陽小学校保健室協議会  
△北陽小育成協会 〒142-0073

●内容  
「図書室開放」

目的：自学・自習、読書のため  
時間：12:00～12:00 場所：図書室（2F）  
利用：無料  
対象：北陽小学校の子供から大人まで  
見守り：地域ボランティアさん  
約束：①あいさつすること  
②楽しく自習すること  
③静かに読書すること

手作りランチカフェ  
「タケ's キッチン」

目的：ランチしながら交流の場  
時間：11:30～14:00 場所：家庭科室（1F）  
利用：ひとり 200円（料金青のみ）  
対象：北陽小学校の子供から大人まで  
見守り：地域ボランティアさん  
約束：①あいさつすること  
②楽しく食べること  
③手伝うこと

●メニュー  
○8/1 (木)  
・オバケバのまっかせそらめん  
・サクダサンピタソ  
○8/7 (水)  
・野菜たっぷりナポリタン  
・ポテチナパソ  
○8/21 (水)  
・きのこと鶏野菜の辛味バスク  
・手作りパン  
○8/27 (火)  
・野菜ゴロゴロカレー  
・マカロニグラ  
※メニューを変更しにらごめんなさい

○当日の様子は地元情報紙・SNSで発信！

○ボランティア保護者スタッフ募集中！

8月1日がけながら…とおもひります！

冬休み限定！  
みんなの居場所づくり

## 北陽みんなの学校

～児童だけでなく、地域のみんな、学校に集まれ～

令和6年12月20日  
北陽小育成協会 〒142-0073  
△北陽小育生会 鹿田達  
協力…北陽小学校保健室協議会  
△北陽小育生会 鹿田達  
△北元情報紙編集部

●開催日  
12月 25日 (水) 26日 (木) 1月 1日 (月) 6日 (火)

●あいさつ  
夏休みに開催した「北陽みんなの学校」が評判（？）につき、冬休みも3日間開催します。北陽小の図書室と家庭科室を開設してもらいました（北陽小に宿題なし！、子供たち、保護者、地域の人が集まる場所を作ります）。

宿題や読書にくわえて『タケズキッチン』のランチにも気兼ねで来てくださいね！

○必ずお読みください

●馬鹿保護者の皆さんへ  
「北陽みんなの学校」は北陽のボランティアが運営する手作りの居場所づくり活動です。学童保育ではありませんので、児童は保護者の責任の元で参加していただけになります（北陽小は場所の提供のみ）。

参加する際の行き帰りの交通安全指導は各家庭でお願いします。また、食事に際してアレルギー対応はできませんのでご注意ください。

●メニュー  
○12月 25日 (水)  
・アッアツから  
・油そば  
・たぬきスープ  
○12月 26日 (木)  
・黒胡麻ハンバーグ  
・玉ねぎごはん  
・春雨スープ  
○1月 1日 (火)  
・具物丼うどん  
・牛丼  
・長崎めんじこ  
※おもむろごめんなさい

○当日の様子は地元情報紙・SNSで発信！

○ボランティア保護者スタッフ募集中！

●問い合わせ  
△北陽小育成協会・NPO法人なめしボート 〒142-0073 12.takeshi@dream.com  
△北陽小育生会 鹿田達 tel.090-957-4394

※この消息は「北陽ボランティア情報部会」の消息を複数いいます

# 【SNS発信用チラシ】



※個人や地域仲間、  
地コミのInstagram、  
facebookで発信

# 【北陽みんなの学校の様子】



※北陽小児童がメインながら、ランチだけを食べに来る地域の方もいた  
※少人数ながらシニアの方もグループでランチを食べに来ていた

# 【北陽みんなの学校の様子】



※食べた後は自分のお皿は自分で後かたづけ  
※波佐見町の器レンタル「KIGAE」から色んな食器をレンタルし使用→



## 【北陽みんなの学校～タケズキッチン～料理、図書館開放】



▲図書館開放の様子

# やってみての反省と課題、今後

## 【反省】

- ・開催日程の設定がスタッフの集まる日を優先した  
(→平日開催が多く、子供や家族ファーストではなかった)
- ・地域への周知に苦戦した  
(→ポスティングや自治会回覧への周知の丁寧さが足りなかつた)
- ・行動を起こすまでの魅力が足りなかつた  
(“ぜひ行ってみたい！”という仕掛けがまだまだ足りなかつた)
- ・夏季開催が酷暑のため不要な外出自粛になつた  
(自然のことでこればっかりは予測が難しかつた

# やってみての反省と課題、今後

## 【課題】 ※一部です

- ・開催日程の設定をどうするか？  
→保護者は両親とも働いていることが多く、週末開催が良いのか？
- ・イベントや行事の周知の難しさ  
→周知方法が世代によって多様化しているのでベスト方法が難しい  
→各世帯へのチラシ配布、有料ポスティング、SNS発信etc  
→小中校内「テトル配信」の“子供が見てない”という課題も見つかった
- ・学校の協力あっての開催ながら...  
→働き方改革もあり週末開催時の学校開放をどうするか？

# やってみての反省と課題、今後

## 【今後】

- ・今後、続けるかどうか、止めることも選択肢の1つ
  - 継続経費、スタッフ確保、学校の協力体制、地域の理解etc
  - 今回に限らず「今までしてきたから…」では継続は難しくなってくる
- ・食費＆物価高騰で経費増加にどう対処していくか
  - 今回1回当たり約10,000～15,000円の経費(人件費無し)
  - 地域事業者や住民からの寄付を募るかどうか
- ・地域交流＆親睦優先？ 参加人数優先？ 採算優先？
  - 目的を明確にして人数が少なくとも続けていくのかの判断が必要
  - もっと手軽に集まる他の“居場所づくり”を考える

# やってみての総括①

何をするか？は

**目的を明確**にして

トライ＆エラーを繰り返しながら

“令和”の子供、保護者、地域

そして、運営スタッフに合わせた  
ベターな方法を探し続けていく



## やってみての総括②

小中校区という  
限られた地域に縛られず  
近隣の育成協や地コミ、  
市内の地域仲間と一緒にになって  
同じ目的のために  
協働していくことが  
これから地域活動には必要（かな）



# おまけ

## 【北陽＆大園育成協が取り組む“仲間づくり”】

他の地区に進出して育成協の輪を市内全域に広げていく(という野望 😊)



▲ハロウィン110番(大園小)



▲滑石っ子まつり(滑石小)



▲ビオトープ泥除去(大園小)



▲6地区合同大忘年会



▲巨大段ボール迷路備品貸出  
(飽の浦小)



▲アンガーマネジメント(怒りの感情)  
保護者向け無料講習会

# まず大人が楽しむ！



ズブ濡れになりながら「水鉄砲合戦」で  
子供たちと本気で対戦するアダルトチーム

ご静聴ありがとうございました！